

有珠山周辺の傾斜変動*

Tilt Changes around Usu Volcano

九州大学大学院理学研究院地震火山観測研究センター
 北海道大学大学院理学研究科地震火山研究観測センター
 東京大学地震研究所
 Institute of Seismology and Volcanology, Graduate school of Sciences, Kyushu University
 Institute of Seismology and Volcanology, Graduate School of Science, Hokkaido University
 Earthquake Reserch Institute, University of Tokyo

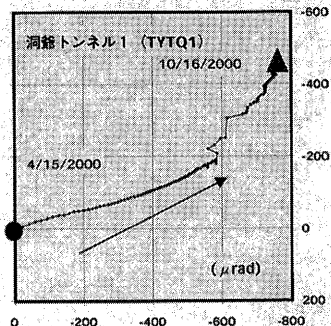
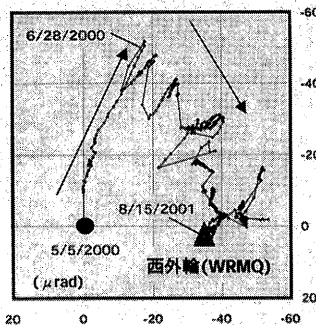
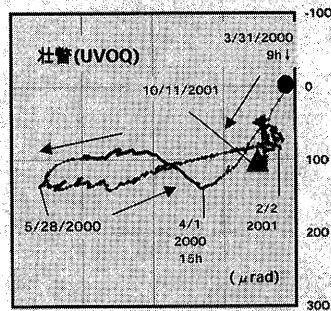
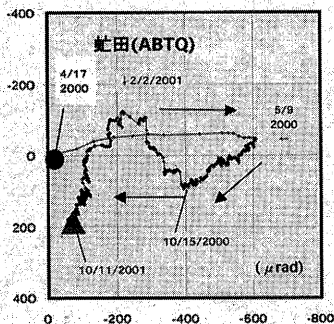
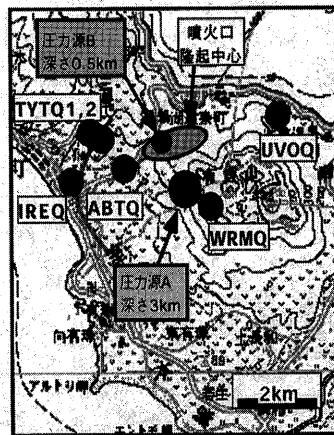
九州大学地震火山観測研究センターは、東大地震研・北大有珠火山観測所と共同で有珠山周辺に気泡型傾斜計を設置し観測を続けている。第1図に観測開始からの傾斜ベクトル、第2図に観測開始からの各地点でも傾斜変化推移を示す。これらの解説は、図中の説明文を参照されたい。

九州大学地震火山観測センターは東大地震研・北大有珠火山観測所と共同で有珠山の周辺に気泡型傾斜計を設置し観測を続けている。

有珠火山観測所(UVOQ)では2000年3月31日9時から観測が開始され、 $170 \mu\text{radian/day}$ という急激な南西隆起の変動が観測されたのち、西側隆起に変わった。その他の地殻変動データも考慮することにより、2つの圧力源が推定された。圧力源Aは微小地震の震源空白域近傍である。

それぞれの傾斜観測点は2000年5~6月にかけて反転を開始し、圧力源が収縮する方向に沈降を続けていたが、2001年2月には、ほぼその動きを止めた。

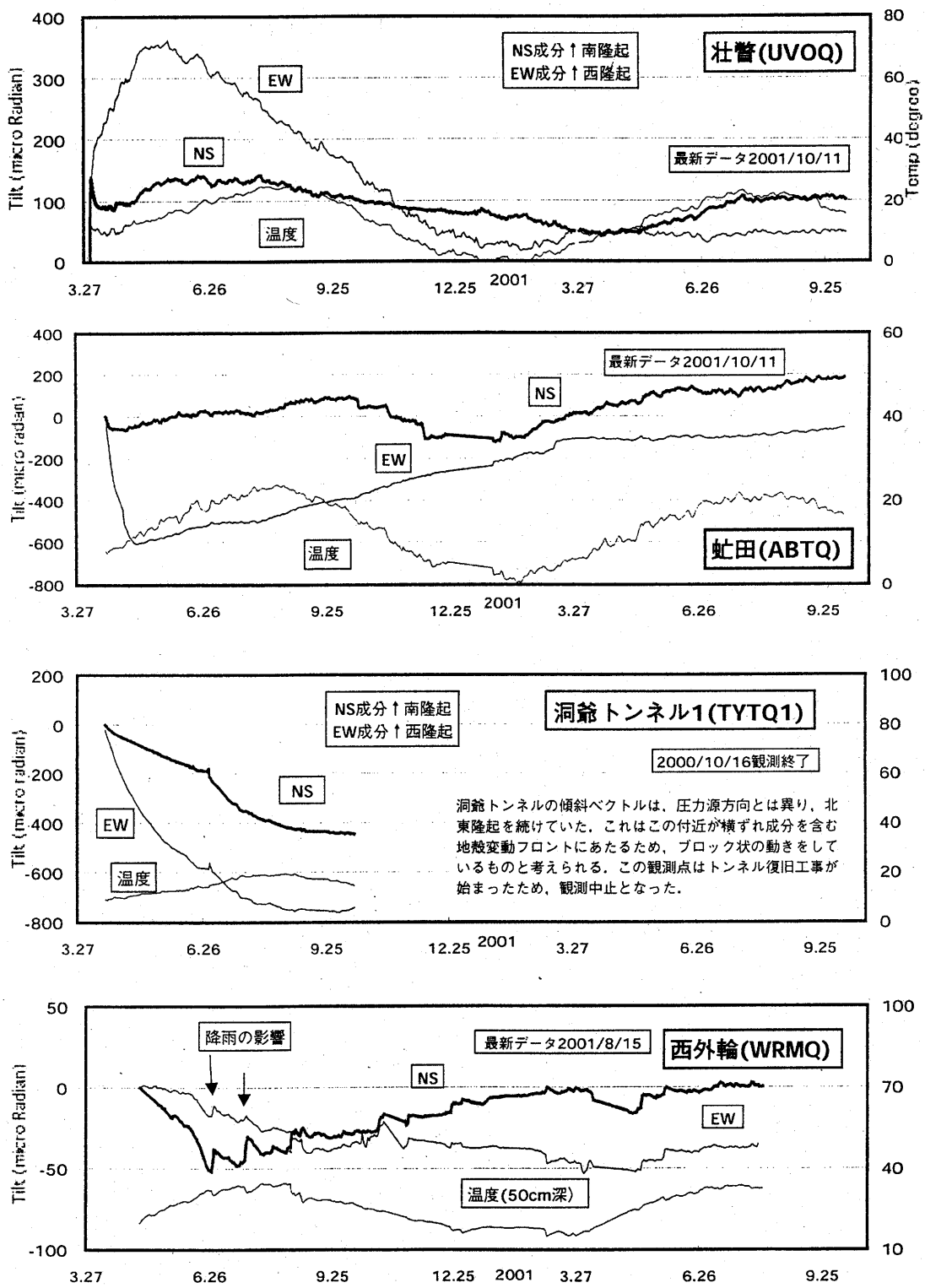
その後の傾斜変化の多くは、気温の年間変化に因るものであると推測される。



第1図 観測開始からの傾斜ベクトル図 (隆起方向)。●は観測開始時、▲は最新データを示す。

Fig.1 Change in the tilting (upward) vectors at 4 temporal stations. Solid circle and triangle in each diagram indicate the start of observation and the latest data, respectively.

*Received 10 Dec., 2001



第2図 観測開始からの各地点での傾斜変化推移図

Fig.2 Cumulative tilt change at 4 temporal stations.